



# 俳句ゆめクラブ会報

2023年8月22日

第 158 号

鉄砲百合一花一花に気迫あり (4票) 梅田ひろし  
鳴きやめばまた鳴くを待つつくつくし (3票) 岡田時雄

長髪の球児躍動涼新た (3票) 岡田時雄

毎年夏の暑さとうんざりした頃に「それでも暑さ寒さも彼岸までと言うからしようがないか」と自ら慰めるのだが、それにしても今年は格別暑さが厳しいような気がする、「この暑さはいつまで」などとニュースにもなる位だから特別な年なのである。しかしこれが来年も再来年もかも、と思うと恐ろしい。ラニーニャ現象なのか、海水温が上昇している為なのか色々であろうがやはり温暖化ということなのだろうか。

## 「句会」県活2022号セミナー室

13時～14時30分

### 梅田先生の句

一日の鬱流さんとシャワー浴ぶ  
少年兵の無垢の笑顔や終戦日  
鉄砲百合一花一花に気迫あり

### 梅田先生選

燃えさかる百日紅の強さかな  
四五日が食べ頃とありメロン着く  
一日の憂さを晴らせるシャワーかな  
いちにちの境界見えぬ残暑かな  
生き返る晩酌前のシャワーかな

小林健一郎  
宮島昭夫  
岡田時雄  
吉野利美子  
八千代幸男

### 《入選》

声上げてシャワー掛け合ふ子ら燥ぎ  
鳴き止むとまた鳴くを待つつくつくし  
らつせらと跳ねる若者夏盛ん  
長髪の球児躍動せる猛暑  
舞ひ降りて道の水吸ふ夏の蝶  
天よりのシャワー光れる銀の粒  
砂遊び親子一緒にシャワー浴ぶ

久方に家族集ひしお盆かな  
明日句会向ひの堀越し酔芙蓉  
西日背にシャワー七色浮かびけり  
盆休みバス停長き列をなし  
球場の声援の燃え雲の峰  
女学生手に持つスマホと扇風機  
人の世は十人十色秋の風  
中天に放たるシャワー彩なせり  
むくむくと雲盛り上がる今朝の秋  
風抜ける稲穂の道や白き雲  
戦争はいつまで八月十五日  
喧嘩のあと蛇口全開シャワー浴ぶ

宮島昭夫  
岡田時雄  
瀬戸川公子  
岡田時雄  
岩松忠子  
小林健一郎  
長澤輝子  
吉野利美子  
瀬戸川公子  
吉野利美子  
岩松忠子

### 互選

少年兵の無垢の笑顔や終戦日  
いちにちの境界見えぬ残暑かな

(5票) 梅田ひろし  
(5票) 吉野利美子

### 兼題「秋澄む」

・次回句会 9月26日(火)  
・県活・2022号室(13時より)  
(当番:浅見、吉野)

・今回は9名出席  
(欠席:浅見 鈴木)



(小林健一郎記)